



かるかる

vol.266
11月

2017年



リニユーアル・オープン記念
英国最大の巨匠

ターナー 風景の詩

Turner

and the Poetics of Landscape

2017.11/3 [金・祝] ▶ 2018.2/4 [日]

[開館時間] 9:30~17:30 (入館は17:00まで)

[休館日] 月曜日(ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)、年末年始(12月29日~1月3日)

[観覧料] 一般 1400(1200)円
高大生 800(600)円
小中生 600(400)円

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。なお障害者手帳を提示の方は無料。年長者施設利用証(北九州市交付のもの)を提示の方は2割減免。
※本券チケットでコレクション展もご覧いただけます。※前売り券は、ローソンチケット(Lコード:81723)、チケットぴあ(Pコード:768-591)、セブン-イレブン、ファミリーマート、小倉井筒屋、黒崎井筒屋、北九州モノレール主要駅、筑豊電鉄主要駅で販売。※ローソンチケット、チケットぴあ、セブン-イレブン、ファミリーマートについては、展覧会開催中は当日料金での販売となります。

北九州市立美術館本館
〒804-0024 北九州市戸畑区西船ヶ谷町21番1号
Tel.093-882-7777 <http://www.kmma.jp>

小倉北 **北九州芸術劇場**   etc.

〒小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州6F ☎093(562)2655 観公演によって異なります
 西小倉駅 徒歩3分 室町・リバーウォーク 徒歩1分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	鼓童 打男 DADAN 2017	4(土)	16:30	S席 ¥5500 A席 ¥5000 ※対象:小学生以上	鼓童チケットサービス 0259(86)2330
	第43回小倉南文化祭日本舞踊合同大会	5(日)	12:00	¥2000	小倉南日本舞踊協会 093(961)0050【藤間】
	姉妹都市ノーフォーク市交流事業 バージニア州立芸術学校ミュージカル特別公演 ～フレイ・フォー・ハリウッド～	7(火)	18:30	無料 ※要事前申込	北九州市企画調整局国際政策課 093(582)2146
	小倉南区文化祭バレエフェスティバル 1部神崎バレエ「パキータ」 2部岡山バレエ「風に向かって」	19(日)	14:00	¥2000	小倉南区バレエ協会 093(962)0603【岡山】
	土佐堀川 近代ニッポン女性を花咲かせた女 広岡浅子の生涯	23(木)祝	12:00	¥10000 ※対象:小学生以上	ピクニックチケットセンター 050(3539)8330
中劇場	小倉北区文化祭参加 黒田バレエスクール発表会 フリーダムに愉しもうヨ	5(日)	13:30	大人(中学生以上) ¥1000 子ども(3歳～小学生) ¥500 ペア ¥1300	黒田バレエスクール 093(571)6718
	北九州市民劇場11月例会 俳優座劇場「十二人の怒れる男たち」	7(火)	18:30	会費	北九州市民劇場 093(541)0075
		8(水)～9(木)	13:30		
		10(金)	13:30/18:30		
		11(土)～12(日)	13:30		
	13(月)	12:30	※対象:小学生以上 ※市民劇場会員でない方はお問い合わせください		
	エスタダンスアカデミー合同発表会	19(日)	14:00	¥800 ※当日¥200増 ※3歳未満無料	フィットネスクラブ エスタ門司 093(382)5100【岩永】
	春風亭小朝独演会	23(木)祝	14:00	¥4000 ※対象:小学生以上 ※当日¥500増	シアターネットプロジェクト 092(739)2318
	この熱き私の激情 ～それは誰も触れることができないほど激しく燃える。あるいは、失われた七つの歌～ 松雪泰子主演、カナダ人作家ネリー・アルカンの小説をコラージュ	25(土)	18:30	一般 ¥9000 学生券 ¥4000 ※対象:小学生以上 一般のみ当日¥500増	ピクニックチケットセンター 050(3539)8330
		26(日)	13:00		
北九州子ども劇場 12月乳低合同例会 「12の月のたき火」(人形劇団プーク)	30(木)	18:30	会費 ※子ども劇場会員でない方はお問い合わせください	北九州子ども劇場 093(884)3834	
小劇場	一夢会 Ballet Studio 2017 Felice Swan 「ラ・バヤデール～第2幕～」	4(土)	15:00	無料 (要整理券)	一夢会 Ballet Studio 080(5247)4876
	ゴジゲン 第14回公演「くねなずめ」 北九州出身の若手映画監督・松居大悟主宰のゴジゲンが8年ぶりに登場!	11(土)	14:00/18:00	一般 ¥3000 高校生(的)チケット ¥1000 ※対象:小学生以上 ※当日¥300増	北九州芸術劇場 093(562)2655
		12(日)	14:00		
	公共ホール現代ダンス活性化事業 田畑真希ダンス公演「Mockup Hurricane」 注目のダンサー／振付家・田畑真希×市民参加者との創作作品	19(日)	15:00	¥1000 ※対象:小学生以上 ※当日¥200増	北九州芸術劇場 093(562)2655
	TAKAKO LIVE 2017	23(木)祝	15:00	¥3000 ※対象:小学生以上	Studio un demi(スタジオアンドゥミ) 090(3669)1139【稲生】
空晴(からっぱれ)「遠くの花火」「もう一回の、乾杯。」 大阪で注目の劇団初登場。誤解、勘違いが交錯する、アットホームコメディ	25(土)	19:00	一般 ¥3500 U22(22歳以下) ¥2500 高校生以下 ¥1500 二本立て一般 ¥6000 U22(22歳以下) ¥4000 高校生以下 ¥2000 ※対象:小学生以上 ※当日¥300増 ※二本立ては劇団のみ取扱	北九州芸術劇場 093(562)2655	
	26(日)	14:00 17:00			

■北九州芸術劇場改修工事のお知らせ 北九州芸術劇場は平成29年度に小劇場・大ホールの改修工事を計画しております。
 (予定工事期間:小劇場)平成30年1月4日から2月4日(大ホール)平成30年1月22日から2月21日(北九州芸術劇場 施設利用係 TEL 093(562)8436)

小倉北 **北九州芸術劇場**
市民ギャラリー 

〒小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州5F ☎093(562)2520
 開10:00～19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
 西小倉駅 徒歩10分 西小倉駅 徒歩3分 休年末年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
浅倉龍雲一門作品展 絵画・書道	1(水)～7(火)	無料	彩滴会 090(4355)0032
第28回 東光会福岡支部洋画作品展 絵画	8(水)～14(火)	無料	東光会 福岡支部 090(4483)8233
第4回 北九州フォトクラブ写真展 写真	22(水)～28(火)	無料	北九州フォトクラブ 090(8410)9793
カリグラフィー作品展2017 書道	11/29(水)～12/5(火)	無料	インクステイン 093(941)6196

門司 **出光美術館(門司)**  etc.

〒門司区東港町2-3 ☎093(332)0251 開10:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
 門司港駅 徒歩8分 門司IC 約10分 休月曜日(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館)、展示替期間、年末年始

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
古唐津 出光佐三がこよなく愛した古唐津。独自の世界をたたえた優品を幅広く展覧します	開催中～12/17(日)		一般 ¥700 高・大学生 ¥500 ※中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093(332)0251
列品解説 学芸員が展示作品をわかりやすく解説します	12(日)	①11:00 ②14:00	無料 入場料が必要	

八幡東 北九州市立響ホール

〒812-0111 北九州市東区平野1-1-1 ☎093(662)4010 八幡駅 徒歩15分
 ☎「八幡駅入口第一」徒歩10分
 ☎「国際村交流センター」徒歩3分 休年末年始、隔月1回(不定休) 回240台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
2017北九州国際音楽祭 徳永二男[ヴァイオリン]、堤剛[チェロ]、練木繁夫[ピアノ]	5(日)	15:00	指定席 ¥4000 一般自由席 ¥3500 U-25自由席 ¥2000 ペア自由席 ¥6000 (25歳以下、要証明) ※対象:小学生以上 ※当日各¥500増(ペア自由席除く) ※響ホール自由席通し券(¥7000)対象 ※一部指定 ※指定席売り切れ	北九州国際音楽祭 実行委員会事務局 093(663)6567
親子・職員ふれあいコンサート	6(月)	18:45	無料 ※全席自由	北九州市保育所連盟 八幡東支部 清心保育園 093(652)3231
2017北九州国際音楽祭 鈴木優人[チェンバロ] with バッハ・コレギウム・ジャパン(9名)	11(土)	15:00	指定席 ¥4000 一般自由席 ¥3500 U-25自由席 ¥2000 ペア自由席 ¥6000 (25歳以下、要証明) ※対象:小学生以上 ※当日各¥500増(ペア自由席除く) ※響ホール自由席通し券(¥7000)対象 ※一部指定	北九州国際音楽祭 実行委員会事務局 093(663)6567
枝光 布由子 ピアノリサイタル リスト:コンソレーション 第3番、シューマン:ソナタ 第1番 ほか	12(日)	15:30	一般 ¥2000 高校生以下 ¥1000 ※対象:小学生以上 ※全席自由	枝光布由子リサイタル事務局 080(3377)1717
第35回 記念定期演奏会	18(土)	18:00	無料 ※全席自由	産業医科大学混声合唱団 メデュピアコール・サンアカデミーコール 090(5945)4390【江上】
響ホール室内合奏団 第30回 定期演奏会 ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲「四季」 ほか	19(日)	15:00	S席 ¥5000 A席 ¥4000 自由席 ¥3000 学生(小~大学生) ¥1000 ※対象:小学生以上 ※一部指定	認定NPO法人 響ホール室内合奏団 093(647)0565
2017北九州国際音楽祭 第30回記念『ガラ・コンサート』 南紫音[ヴァイオリン]、三浦一馬[バンドネオン]、清水和音[ピアノ] マイスター・アールト×ライジングスターオーケストラ コンサートマスター篠崎史紀 [ヴァイオリン] ほか	26(日)	15:00	S席 ¥6000 A席 ¥4000 U-25(A席) ¥2000 (25歳以下、要証明) ※対象:小学生以上 ※当日各¥500増 ※全席指定	北九州国際音楽祭 実行委員会事務局 093(663)6567

門司 関門海峡ミュージアム (海峡ドラマシップ) etc.

門司門司区西海岸1-3-3 ☎093(331)6700 開9:00~17:00
 ☎「門司港駅」徒歩5分 休年5回

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
港上 7階	バナナのたたき売り	5(日)	13:00 15:00	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
ホール 多目的	よくわかる写真の基礎講座 写真家四宮佑次氏による「よくわかる写真の基礎講座」	3(金)祝	10:30~ 12:00	無料 ※要事前申込	
ソ ン 展 示	トレジャーハンティング THE FINAL 小中学生を対象に関門海峡ミュージアムを舞台としたクイズラリー	11/25(土)~1/8(月)祝		¥300 (小中学生展示ゾーン入館料含む)	

門司 旧門司税関

門司門司区東港町1-24 ☎093(321)4151 開9:00~17:00
 ☎「門司港駅」徒歩3分 休なし

会場	イベント	期間 (時間は上記)	開演	入場料	問合せ先
1階	『MARIKO MIYAKEのアトリエからこんにちは展』	1(水)~7(火)		無料 ※1(水)は10:00から、7(火)は16:00まで	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
2階	『みちべの彩』	2(木)~8(水)		無料 ※2(木)は13:00から、8(水)は16:00まで	
	『渚のガラスのランプ工房展』	10(金)~15(水)		無料 ※15(水)は13:00まで	
	『門司区文化祭写真展』	17(金)~23(木)祝		無料 ※23(木)祝は16:00まで	
	美術展『門司の画家たち展』	11/30(木)~12/6(水)		無料 ※12/6(水)は15:00まで	

門司 門司港レトロ展望室

門司門司区東港町1-32 ☎093(321)4151 開10:00~22:00(カフェは20:30まで) 入館は開館30分前まで
 ☎「門司港駅」徒歩5分 休年4回

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
天空ジャズ 出演:近藤タケユキデュオ(トリオ)	4(土)	18:30 19:30	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	門司港レトロ総合インフォメーション 093(321)4151

門司 門司市民会館

門司門司区老松町3-2 ☎093(321)2907 開9:00~22:00
 ☎「門司港駅」徒歩13分 ☎「関門トンネル車道口」徒歩2分 ☎「レトロ東本町1丁目」徒歩3分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大 ホ ール	第67回門司区文化祭 区民音楽祭	11(土)	14:00	無料	門司文化団体連合会 093(331)6232
	第67回門司区文化祭 日本舞踊大会	19(日)	12:30	¥1000 (前売・当日共)	
	第67回門司区文化祭 邦舞公演会	26(日)	12:00	無料	

門司 門司港美術工芸研究所

門司門司区東港町6-72 港ハウス2F ☎093(322)1235 開10:00~17:00
 ☎「門司港駅」徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

会場	イベント	期間 (時間は上記)	開演	入場料	問合せ先
港上 2階 エ ス	門司港美術工芸研究所展 アーティストの作品展示と布による非日常的空間のインスタレーション	10/29(日)~11/5(日) (会期中無休)		無料	門司港美術工芸研究所 093(322)1235

門司 旧大連航路上屋

門司門司区西海岸1-3-5 ☎093(322)5020 開9:00~17:00
 ☎「門司港駅」徒歩5分 休年4回

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
松 変 座 1階	松永文庫企画展「高倉健映画資料展」	10/21(土)~1/17(水)		無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
ホ ール 2階 多 目 的	マンズリージャズ 出演:ジージー 4(フォー)	12(日)	14:00~ 16:00	無料	
	マンズリーシアター 上映作品:「男はつらいよ寅次郎夢枕」	26(日)	14:00~ 16:00	無料	

小倉北 北九州市立文学館

〒小倉北区内4-1 ☎093(571)1505 開9:30~18:00(入館は閉館の30分前まで)
 小倉駅 徒歩15分、西小倉駅 徒歩10分 小倉北九州市役所前 徒歩2分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	生誕90年記念 藤沢周平展 作家・藤沢周平の世界を、文章と資料で紹介する。	10/28(土)~12/10(日)		一般 ¥700 中学生 ¥200 小学生 ¥100	北九州市立文学館 093(571)1505
	藤沢周平を読む ①「運の尽き」(新潮文庫「驟り雨」所収) 朗読者:有門正太郎さん(有門正太郎プレゼンツ) ②「隠し剣 鬼ノ爪」(文春文庫「隠し剣孤影抄」所収) 朗読者:上西昭南さん(劇団 青春座OB)	4(土)	①13:00 ②14:30	無料 ※要事前申込	
	藤沢周平を読む ①「うしろ姿」(新潮文庫「驟り雨」所収) 朗読者:さかね啓子さん(語り どんどはれ) ②「深い海」(文春文庫「暗殺の年輪」所収) 朗読者:葉山太司さん(飛ぶ劇場)	23(休祝)	①13:00 ②14:30	無料 ※要事前申込	

小倉北 北九州市立松本清張記念館

〒小倉北区内2-3 ☎093(582)2761 開9:30~18:00(入館は閉館の30分前まで)
 西小倉駅 徒歩5分 小倉城・松本清張記念館前 徒歩1分 休年末

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
企画展示室	前期特別企画展 「清張と鉄道 ―時代を見つめて 小倉発1万3500*」	8/1(火)~11/20(月)		常設展示観覧料を含む 大人 ¥500 中学生 ¥300 小学生 ¥200	松本清張記念館 093(582)2761
	清張サロン「松本清張と池波正太郎」 【講師】加島巧(長崎外国語大学教授)	25(土)	14:00~16:00	無料 ※要事前申込 ※常設展示観覧は別途入館料が必要	松本清張記念館友の会・ 松本清張記念館 093(582)2761
	はじめて聞く清張講座4 企画展「清張と鷗外」について	27(月)	14:00~15:00	無料 ※要事前申込 ※常設展示観覧は別途入館料が必要	松本清張記念館 093(582)2761

小倉北 小倉井筒屋

〒小倉北区船場町1-1 ☎093(522)3111(代) 開10:00~19:00※各最終日は16:00に閉館
 小倉駅 徒歩7分 休不定休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
新館7階大画廊	「輪島塗 漆の温もりと輝き」 坂水幸雄 漆芸展	1(水)~7(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093(522)2521
	西村和己 油絵作品展	8(水)~14(火)	無料	
	~オールドイングランドの光を描く~ ディヴィット・クレイン絵画展	15(水)~21(火)	無料	
	波濤の会	22(水)~28(火)	無料	
新館7階小画廊	吉田 緑 油絵展	11/29(水)~12/5(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093(522)2521
	上田 むつ子 油絵展 ~四季の木々~	1(水)~7(火)	無料	
	~太陽の国の色彩とフォルム~ 船戸あやこ作陶展	8(水)~14(火)	無料	
	~神聖な風景~ 三宮 一将 油彩画展	15(水)~21(火)	無料	
	~西洋の美~ ヨーロッパアンティーク展	22(水)~28(火)	無料	
	J・M・Wターナー 銅版画展	11/29(水)~12/5(火)	無料	

小倉北 小倉城

〒小倉北区内2-1 ☎093(561)1210 開9:00~17:00(11月~3月)入館は閉館の30分前まで
 小倉駅 徒歩15分、西小倉駅 徒歩10分 休なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
歴史公園	第13回つまようじ全国名城展 小倉城をはじめ全国の名城をつまようじで制作。約40点を展示。	開催中~11/28(火)	一般 ¥350 中学生 ¥200 小学生 ¥100	小倉城 093(561)1210

小倉北 水環境館

〒小倉北区船場町1-2 ☎093(551)3011 開10:00~19:00
 小倉駅 徒歩10分、西小倉駅 徒歩10分 勝山橋 徒歩1分、魚町 徒歩3分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
多目的ホール	水曜コンサート「バイオリンとピアノの奏べ」	1(水)	14:00	無料	水環境館 093(551)3011
	水曜コンサート「歌とピアノの奏べ」	15(水)	14:00	無料	

小倉南 小倉南生涯学習センター

〒小倉南区若園5-1-5 ☎093(931)1286 開9:00~22:00 小倉南区役所 徒歩1分、「企教中学校前」徒歩2分
 (モノレール)「北方駅」徒歩12分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	小倉南区文化祭 民謡大会 民謡・民舞・歌謡・太鼓・津軽三味線	19(日)	9:30	無料	小倉南民謡協会 093(963)1011【大楠】
	小倉南文化祭音楽会	26(日)	11:00	無料	小倉南音楽連盟 080(4287)9652
展示コーナー	九州刻字研究会 第16回作品展	14(火)~19(日)	9:00~17:00	無料 ※14(火)は13:00から、19(日)は15:00まで	九州刻字研究会事務局 090(1364)8127【赤星】
	秋景書道会 作品展	21(火)~24(金)	9:00~17:00	無料 ※21(火)は13:00から、24(金)は15:00まで	秋景書道会 090(3601)7072【大枝】
	写真研究クラブ1期会 展示会	25(土)~30(木)	9:00~17:00	無料 ※25(土)は10:00から、30(木)は16:00まで	写真研究クラブ1期会 093(961)2459【大久保】

若松 北九州学術研究都市 会議場

〒若松区ひびきの2-3 (公財)北九州産業学術推進機構総務企画部施設管理担当課 ☎093(695)3003
 折尾駅 より市営バス「学研都市ひびきの」15分 黒崎駅 より西鉄/市営バス「学研都市ひびきの」30分
 北九州都市高速「黒崎IC」20分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	ひびきの・みつさだ気ままに音楽会2017 ~音楽で地域をつなぐ・世代をつなぐ~	12(日)	9:30	無料	光貞市民センター 093(692)9469

若松 若松市民会館

所若松区本町3-13-1 画093(771)8131 画9:00~22:00

画「若松駅」徒歩1分 画「大橋通り」「若松駅」「若松市民会館前」徒歩2分 画年末年始 画110台(共用)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	北九州交響吹奏楽団第60回定期演奏会 吹奏楽コンサート	12(日)	15:00	¥800 ※当日¥200増	北九州交響吹奏楽団 090(3416)4181【杉名】
	澤田理絵ソプラノコンサート ピアノ・ソプラノ・ヴァイオリンコンサート	18(土)	18:00	¥2000	澤田理絵を支援する会 093(771)3391【澤田】
	第55回定期演奏会 声楽・ピアノ	19(日)	14:30	2人券 ¥2000 1人券 ¥1500	演奏家グループ「虹の会」 090(3884)8264【川越】
	若松区文化祭 日本舞踊の会	26(日)	11:00	一般 ¥1000 学生 ¥500	若松区文化協会日舞部 090(2510)0488【勝美】
小ホール	若松区文化祭 若松児童文化会文化祭	19(日)	14:00	無料	若松区文化協会児童文化部 093(742)7801【伊藤】
展示室	若松区文化祭 書道展	1(水)~7(火)		無料	若松区文化協会書道部 093(761)0049【和田】

若松 現代美術センター CCA北九州

所若松区ひびきの2-5 学術研究都市 画093(695)3691 画10:00~17:00(展覧会開催時のみ)

画市営バス「学研都市ひびきの」徒歩1分 画年末年始

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
	アリシア・フラミス展 詳細はお問い合わせください	10/16(月)~12/26(火) (日・祝休み)	無料 ※土曜は12:00から	現代美術センターCCA北九州 093(695)3691

八幡東 北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)

所八幡東区東田2-4-1 画093(681)1011 画9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)

画「スペースワールド駅」徒歩5分 画「いのちのたび博物館」徒歩1分

画年末年始、6月下旬頃(約1週間) 画大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	秋の特別展「最後の戦国武将 小倉藩主 小笠原忠真展」 家康に「鬼孫」と激賞され、「九州探題」と一目置かれた忠真の活躍を紹介。	開催中~12/3(日)		大人 ¥500 高大生 ¥300 小中生 ¥200 ※常設展は別途料金が必要 ※常設展とのセット券あり	いのちのたび博物館 093(681)1011
	秋の特別展関連イベント「ギャラリートーク」 特別展内での学芸員による展示解説。	10/7(土)~12/3(日) (毎週日曜日)	14:00	要特別展入場料 大人 ¥500 高大生 ¥300 小中生 ¥200 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
	開館記念日/旧八幡市制百年記念 特別講演会 「八幡とともに80年—銘菓「八幡饅頭」の鶴屋社長原田隆好さんに聴く—」 講師:いのちのたび博物館自然史友の会副会長 原田 隆好氏	3(金祝)	13:30	無料 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
	開館15周年記念イベント「君もあの戦国武将になろうー変わり兜着用体験ー」 兜を着用して戦国武将になってみよう!	4(土)~5(日)	10:30 13:00 15:00	要特別展入場料 大人 ¥500 高大生 ¥300 小中生 ¥200 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
	いのちのたび自然塾「どんぐり祭り! たべよう・あそぼう」 どんぐりについて学び、どんぐりクッキー作りやどんぐりを用いた工作を行う。	11(土)	10:00 13:30	保険代・材料費 ¥200 ※要事前申込(小学生以下は保護者の参加が必要)	
	歴史探訪講座「北九州の城跡を歩く 小倉城跡」 細川・小笠原氏ゆかりの小倉城を歩いて探訪します。	12(日)	10:00	保険代 ¥50 ※対象:階段を昇り降りできる方 ※要事前申込(小学生以下は保護者の参加が必要)	
	秋の特別展関連イベント 「小笠原家茶道古流未得会による御抹茶の振る舞い」	19(日)	10:00	要特別展入場料 大人 ¥500 高大生 ¥300 小中生 ¥200 ※各回先着25名、30分毎に計8回実施	
	たいけん講座「自然史工作教室 ムササビとタネのグライダー」 ムササビと、植物のタネをモデルにした簡単なグライダーを作ります。	23(木祝)	13:30	無料 ※要事前申込(小学生以下は保護者同伴)	
	開館15周年記念イベント「小倉織のストラップづくり」 ミニ小倉織機を使って、小倉織ストラップを作成します。	25(土)~26(日)	10:30 13:30	材料費 ¥500 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(小学生は保護者同伴)	

八幡東 北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)

所八幡東区東田2-2-11 画093(663)5411 画平日9:00~19:00、土・日・祝日17:00まで(入館は閉館30分前まで)

画「スペースワールド駅」徒歩5分 画「いのちのたび博物館」徒歩3分

画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 画大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
企画展	試す・比べる・感じる~「香りのふしぎ」展 嗅覚ってなぜ必要なの?匂いを感じるしくみや、広がる香りの動きを知ろう	10/14(土)~12/17(日)		大人 ¥300 小中学生 ¥100 ※対象:3歳以上 ※小学生未満無料	北九州イノベーションギャラリー 093(663)5411
企画展	秋企画展連動講演会 「香りの世界を楽しむ」 調香師(株式会社資生堂)の長年にわたる香りの歴史や研究、仕事についての講演	25(土)	13:00~14:30	無料 ※対象:中学生以上	

八幡東 北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

所八幡東区西本町1-20-2 画093(661)9130 画10:00~18:00

画「八幡駅」徒歩5分 画年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	セピア色の思い出 映画音楽特集 主催 歌声の会	5(日)	14:00	無料	090(1160)6010【時川】
	葉玉恵一写真展 モノクロームの世界 モノクロームとは白黒だけでなく、1色で表されたものです。	8(水)~13(月)	10:00~17:00	無料 ※13月は16:00まで	093(661)8953【葉玉】
	ステンドグラスのパネルとランプ展「光と影」 主催 Stained Glass Accenti	17(金)~23(木祝)		無料 ※17日は14:00から、23(木祝)は16:00まで	093(621)9505【逆瀬川】

八幡東 北九州市立児童文化科学館

所八幡東区桃園3-1-5 画093(671)4566 画9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)

画「市立児童文化科学館前」徒歩5分 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
会議室	サイエンスショー	3(金祝)	14:00~14:50	無料	児童文化科学館 093(671)4566
2F多目的ホール	★特別番組 オーロラワンダー ~オーロラ上映&トークライブ~	18(土)	15:15~16:45	大人 ¥300 中学生 ¥200 小学生 ¥150 ※10:00から整理券配布	
2F多目的ホール	星の観望の夕べ	25(土)	18:30~20:00	大人 ¥100 中学生 ¥70 小学生 ¥50 ※中学生以下は保護者の参加が必要 ※先着100名、11時から電話受付開始	

八幡西 北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館



所八幡西区木屋瀬3-16-26 回093(619)1149 時9:00~17:30(入館は17:00まで) 負「筑前植木駅」徒歩15分
 負「筑豊電鉄」「木屋瀬駅」徒歩5分 負九州自動車道「八幡IC」、北九州都市高速「馬場山ランプ」約10分
 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
こやのせ座	こやのせ座 落語会 林家さく麿師匠による落語会	3(金)祝	14:00	一般 ¥500 中学生以下 ¥200 ※小学生未満無料 ※当日一般 ¥300増、中学生以下 ¥100増	長崎街道木屋瀬宿記念館 093(619)1149
	人権コンサート in こやのせ	18(土)	14:00	無 料	木屋瀬地域交流センター 093(617)7980
伊馬春生家	伊馬春生家復元二十周年記念事業 「朗読の会と演奏」	5(日)	13:00	無 料	伊馬春生家 093(618)2132

八幡西 黒崎ひびしんホール (北九州市立黒崎文化ホール)



所八幡西区岸の浦2-1-1 回093(621)4566 時9:00~22:00
 負「黒崎駅」徒歩10分 負「筑豊電鉄」「黒崎駅前」徒歩10分 負「熊手四ツ角」徒歩1分
 負北九州都市高速「黒崎IC」5分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	丸岡有子バレエ・モダンダンススタジオ発表会Vol.17	5(日)	15:00	無 料 (入場整理券必要)	丸岡有子バレエ・モダンダンススタジオ 093(621)5531【丸岡】
	Back to the 80's Memories of 大内義昭 出演/高杢禎彦、田中ミツル、Acoustic Coasters、引田香織、Be in Voices、 若松中学校吹奏楽部、九州国際大学付属中学校 MC/山本華世	11(土)	17:00	一般 ¥2500 友の会 ¥2000 高校生以下 ¥1000 ※小学生未満1名まで保護者随上観覧無料	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	八幡東区、八幡西区秋季総合文化祭 箏・三絃・尺八による秋の祭典	12(日)	12:00	無 料	八幡西文化連盟(八幡西三曲協会) 093(603)1169【河津】
	福岡ひびき経営大学 まつり企業祭特別講演会 講師 宇津木妙子	14(火)	13:30	無 料	福岡ひびき信用金庫 093(661)2414【藤本】
	春日流舞踊公演 古今来 春日流 初代家元 春日壽追善 二世宗家 春日壽齋襲名 三世家元 春日壽襲名	18(土)	13:00	指定席 ¥7000	春日流宗家事務所 093(642)2433
	新日鉄住金マンドリン合奏団 第75回定期演奏会	19(日)	14:00	¥500	新日鉄住金マンドリン合奏団 090(7314)8711【加賀】
	ライブシアター 2017 白象くんがやって来た	23(木)祝	13:30	¥800 ※当日 ¥200増	白象くんがやって来た実行委員会 090(1193)8461【木戸】
中ホール	第50回 北九州アンサンブルコンテスト	26(日)	10:30	¥1000 ※当日 ¥200増	北九州吹奏楽連盟 090(1340)5364【土谷】
	「第1回 リトルピアニスト」	3(金)祝	14:00	無 料	栗秋 ピアノリトミック教室 080(3229)6612【栗秋】
	第8回 日本バツハコンクール北九州地区大会	5(日)	12:00	無 料	日本バツハコンクール in KITAKYUSYU実行委員会 093(531)5581【松村】
	ひとみらい交流ウィーク 人づくり講演会	10(金)	13:30	無 料 ※要事前申込(申込終了)	北九州ひとみらいプレイス 093(641)9360【三木・松浦】
	第29回新きたきゅう音楽塾 in 黒崎 リストVSパガニーニ超絶技巧の競演	14(火)	13:00	¥500	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	合唱の街・北九州 黒崎ひびしんうたごえホール ~みんなで楽しく歌いましょう~	15(水)	13:00	¥500	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	29年度文化庁芸術振興費補助金 伝統文化親子教室事業 北九州日本舞踊おやこ教室	18(土)	13:00	無 料	日本舞踊菊の会事務局 090(9601)9856
第19回 ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 北九州地区大会	23(木)祝	11:00	一般 ¥1000 学生 ¥500	第19回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 組織委員会 03(6907)2474 河野声洲 090(8913)3940	
勉強会ライブ in 北九州	30(木)	13:00 18:00	指定席 ¥3000		

八幡西 黒崎井筒屋



所八幡西区黒崎1-1-1 回093(643)5111(代) 時10:00~19:30※各最終日は17:00に閉館
 負「黒崎駅」隣接 休不定休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
6階ギャラリー	谷口 靖 絵画展	10/31(火)~11/5(日)	無 料	黒崎井筒屋 ギャラリー 093(643)5268
	趣器展	7(火)~12(日)	無 料	
	鍋島緞通展	14(火)~19(日)	無 料	
	松生 春山人 日本画展	21(火)~26(日)	無 料	
	備前焼 高原 武 作陶展	11/28(火)~12/3(日)	無 料	

八幡西 八幡西生涯学習総合センター



所八幡西区黒崎3-15-3 回093(641)9360
 時9:00~22:00 負「黒崎駅」徒歩1分 負「黒崎IC」約6分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
コムシティ 周辺	コムシティ、黒崎ひびしんホール及び黒崎商店街エリア ひとみらい交流ウィーク コムシティ等で講演会や文化祭を開催。黒崎子ども商店街や子どもビブリオバトルも開催	8(水)~14(火)		無 料 ※一部有料	北九州ひとみらいプレイス事務局 八幡西生涯学習総合センター 093(641)9360
アネキ アネキ	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 音楽のある街づくり ミニコンサート 毎月第2土曜日に、ジャズやボサノバ、映画音楽などを演奏するミニコンサートを実施	11(土)	13:00 14:00	無 料	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 093(671)0411【石橋】

八幡西 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー



所八幡西区黒崎3-15-3コムシティ3F 回093(644)5206
 時9:00~19:00(入館は閉館30分前まで)※企画展により異なる 負「黒崎駅」徒歩1分 休年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
全展示室	水崎勝司個展 洋画・工芸	10/31(火) ~11/5(日)	9:00~ 18:00	無 料 ※5日は17:00まで	水崎勝司 090(9594)0611【水崎】
	ひとみらい交流ウィーク コムシティひとみらい文化祭 工芸・書・写真・その他	8(水)~ 14(火)	9:00~ 17:00	無 料 ※14日は15:00まで	八幡西生涯学習総合センター 093(641)9360【内田】
	第52回 北九書の祭典 書	23(木)祝~26(日)		無 料 ※26日は16:00まで	北九書の祭典運営委員会 093(761)0049【和田】
	第10回 北九州市障害者芸術祭 作品展 洋画・日本画・工芸・書・写真・その他	11/28(火) ~12/3(日)	10:00~ 18:00	無 料 ※12/3日は17:00まで	(公財)北九州市身体障害者福祉協会 093(883)5555【松崎】

八幡西 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー

所 八幡西区黒崎3-15-3コムシティ3F 電話 093(644)5206
 時間 9:00~19:00 (入館は閉館30分前まで) ※企画展により異なる 黒崎駅 徒歩1分 休年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
1 展示室	はじめての水墨画 日本画	16(木)~21(火)	10:00~17:00	無料 ※16日は12:00から、21日は16:00まで	はじめての水墨画 090(9605)8031【大田黒】
2 展示室	秋のいけばな展 いけばな	18(土)~19(日)	10:00~17:00	無料 ※19日は16:00まで	八幡西華道連盟 093(612)6094【平田】

戸畑 北九州市立美術館本館

所 戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 電話 093(882)7777 時間 9:30~17:30 (入館は閉館30分前まで) 美術館口 徒歩10分
 180台 休月曜日(祝日・振替休日の場合翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
展示室	英国最大の巨匠 ターナー 風景の詩 リニューアル・オープン記念展覧会として、ターナーをご紹介します。	11/3(金)祝~2/4(日)		一般 ¥1400 高大生 ¥800 小中生 ¥600 ※前売及び20名以上の団体料金 一般 ¥1200 高大生 ¥600 小中生 ¥400	北九州市立美術館 093(882)7777
コレクション	ザ・ベスト・コレクション -丘の上の双眼鏡 本館で同時開催。当館所蔵の珠玉の作品をご紹介します。	11/3(金)祝~3/18(日)		一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥50 ※20名以上の団体料金 一般 ¥120 高大生 ¥60 小中生 ¥40 ※ターナー展チケットで観覧できます	
エントランスホール	2017北九州国際音楽祭 北九州市立美術館リニューアル・オープン記念 アートミュージアム・コンサート~田部京子[ピアノ]を迎えて~ 田部京子[ピアノ]、広瀬大介[音楽学・音楽評論家]、河村朱音[北九州市立美術館学芸員]	6月	14:00	¥4000 (ターナー展観賞券付) ※定員150名 ※当日¥500増	北九州国際音楽祭実行委員会事務局 093(663)6567

■北九州市立美術館アネックス休館のお知らせ 北九州市立美術館アネックスは平成30年3月まで休館しています。

戸畑 戸畑生涯学習センター

所 戸畑区中本町7-20 電話 093(882)4281 時間 9:00~22:00 戸畑駅 徒歩5分
 戸畑駅 徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
市民ギャラリー	戸畑区文化祭 合同いけばな展 池坊 専心池坊 小原流 日本華道 春日流	4(土)~5(日)	9:00~17:00	無料 ※5日は16:00まで	戸畑区役所コミュニティ支援課 090(871)1502【山崎】
	戸畑美術協会 絵画部会員展 絵画(油彩・水彩)	21(火)~26(日)	10:00~17:00	無料 ※21日は13:00から、26日は16:00まで	戸畑美術協会 093(881)5867【高戸】
	戸畑光学会 会員作品展 写真の展示 約70点	11/29(水)~12/3(日)	10:00~17:00	無料 ※12/3日は16:00まで	戸畑光学会 093(652)0593【荒木】

戸畑 戸畑市民会館(ウェルとばた内)

所 戸畑区汐井町1-6 電話 093(871)7200 時間 9:00~22:00
 戸畑駅 徒歩1分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	ウェルとばた開館15周年記念『富永裕輔 10周年 スペシャルライブ』	3(金)祝	14:00	無料 ※要事前申込み、申込終了 ※全席指定	ウェルとばた総合案内 093(871)7200
	平成29年度戸畑区文化祭 邦舞の会 清元 隅田川/長唄 男舞/清元 折紙/長唄 羽根の禿/常盤津 紅売り など	12(日)	10:30	一般 ¥4000	戸畑区文化団体連合会 093(871)1467【藤間】
	ウェルとばた開館15周年記念 劇団青春座公演『戸畑祇園ヨイトサ!』	18(土)	13:30 18:30	一般 ¥3000 学生(大学生以下) ¥2000 ※当日各 ¥500増 ※親子室あり(無料、要予約)	劇団 青春座 093(922)4995【井生(いおう)】
	第68回 戸畑吟詠剣詩舞大会	23(木)祝	9:30	無料	戸畑区文化団体連合会 093(882)2909【北島】
	ふれあいフェスタ2017・第10回北九州市障害者芸術祭	26(日)	13:00	無料	北九州市保健福祉局人権推進センター 093(562)5010【山下】
	野本秀一トリオ ジャズコンサート ベース丹羽肇、ドラムス亀井俊児、曲:オーバーザレインボー、A列車で行こう	28(火)	19:00	S席 ¥3800 A席 ¥3000 ※対象:小学生以上	北九州労音 093(571)0227【松前】
	第46回 うたと民謡のつどい	30(木)	10:00	一般 ¥500	北九州市立郷土会館 093(592)1411【安部】
中ホール	秋の夜長のホラーな音楽会 上野美科vn、金子鈴太郎vc、永野栄子pf、死の舞踏 ほか	1(水)	19:00	一般 ¥3000 学生(高校生以下) ¥2000 ※対象:小学生以上 ※当日各 ¥500増	KAMACHAN planning 090(8401)0220【蒲ヶ原】
	九州工業大学男声合唱団メンネルコール 平成29年度定期演奏会	4(土)	14:00	無料 ※整理券有	九州工業大学工学部 男声合唱団メンネルコール 080(9140)7890【平田】
	末永龍一 ピアノリサイタル	5(日)	14:00	一般 ¥2000 学生 ¥500 ※当日各 ¥500増 ※乳幼児同伴の場合は親子観覧席利用可	末永龍一ピアノリサイタル実行委員会 090(4474)6696【末永】
	フォレストイーナ コンサート 日本歌曲、イタリ歌曲、アリアを14人が独唱します。気楽にお出かけください。	11(土)	14:00	無料	フォレストイーナ 093(592)3438【白川】
	秋の小さな音楽会 クラリネットとピアノの演奏。	17(金)	19:00	無料	近藤洋子 090(4778)9473
	キンダーコンサート コンサート形式。競わない、子どものための演奏会を企画しました。	23(木)祝	14:00	一般 ¥1000 高校生以下 ¥500	北九州楽友協会 093(622)1900【江里口】
	武内麻美 Anniversary Concerts スペシャルゲスト:瀬尾和紀(ピアノ)と共演	25(土)	14:00	一般 ¥3000 学生 ¥1000	武内麻美 090(9489)9636
交流のらざ	ウェルカムコンサート 出演:キャッキエラマンドリンデュオ【村瀬裕子/後田真佐子】	9(木)	12:20	無料	ウェルとばた総合案内 093(871)7200
	ウェルとばた 秋まつり ステージイベント&ウェルまるしえ ブラスバンド、人形劇、ダンスステージ、雑貨・スイーツ、飲食の出店など	18(土)	11:00	無料	ウェルとばた総合案内 093(871)7200

ジャンルごとに色分けして表記しています
 演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し ※10月12日現在の情報です ※催しは内容など変更になる場合がございます 障害者手帳減免があります



2017年
11月号表紙
「街と共にある。」

北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」

発行日/2017.11.1 発行/北九州市
 編集・制作/(公財)北九州市芸術文化振興財団 出版事業課 〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-11-5F
 TEL:093(562)3027 FAX:093(562)3029 E-mail:culcul@kicpac.jp 北九州市印刷物登録番号 第1609001A号

■レクイエム in 北九州2017

12月3日(日)午後2時30分開場、同3時開演。北九州芸術劇場大ホール(小倉北区室町ノリパーウォーク北九州6F)。モーツアルトの命日である12月5日に合わせて開催。亡くなった方の魂を慰め、祈りを捧げる。指揮長野力哉、ピアノ独奏古賀千恵、合唱指導中山敦、ソプラノ白川深雪、アルト八木寿子、テノール中村弘人、バス原尚志、北九州レクイエム管弦楽団、北九州レクイエム混声合唱団。曲目は、モーツアルト「レクイエム」二短調ほか。全席自由。入場料、一般2500円、大学生

以下1000円。当日各500円増。
北九州モーツアルトの会事務局
田端隆
090(1089)6954



『レクイエム in 北九州 2017』チラシ

■0才からの親子で楽しむクリスマスコンサート

12月10日(日)午前10時30分開場、同11時開演。北九州市立響ホール(八幡東区平野)。楽器紹介やクリスマスにちなんだ曲目など、親子で楽しむプログラ

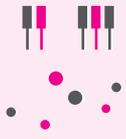
ム。出演は、新居由佳梨(ピアノ)、浜まゆみ(マリンバ)、今村貴子(語り)。予定曲はチャイコフスキー「くるみ割り人形」ほか。全席指定。入場料、大人2000円、子ども(0歳~小学生)1000円、親子ペア2500円。※0歳からチケットが必要、途中休憩有り、午後0時30分終演予定。
響ホール音楽事業課
093(663)6661



『0才からの親子で楽しむクリスマスコンサート』チラシ

永野栄子

いろはに
ぴあの



現在、日本国内にはいくつのピアノコンクールがあるのだろうか。私も毎年いくつか審査をさせていただくのですが、今さらながら、「コンクール主催者の価値観が参加者の演奏に、そしてコンクールの成長に大きく反映される」ということに気づかされました。「どんな演奏家を育てるために、何のためにコン

コンクールは成長する

クールをするのでしょうか。そんな中、毎年11月に行われ、今年14回目を迎える『中津 Art die Musik ピアノコンクール』は、中津近辺のピアノの先生方が「良い演奏会を聴きに行く習慣のない生徒さんたちに、どうすれば広く音楽に興味を持ってもらえるか」と考え、始めたものです。「人の心に響く演奏とは」、「演奏は行間に意味がなくしてはならない」という確固たる信念の下、価値観を共有できる先生に審査をお願いしている

そうで、不思議と参加者の演奏や選曲も、ただ弾くだけではない、心に訴えかけるものも多く出会えます。コンクールを受ける子どもたち、さらにはコンクールそのものが、この14年で確実に良い方向に成長していて、この「意味のあるコンクール」にうれしくなります。

『正しい嗜好・価値観』を学んだ子どもたちが成長して、固定概念にとらわれない世界をつくり上げてくれる、そんな日がいまもなく訪れるはずですよ。



2017年 文学の秋、小倉ブックフェスはじまります。

今年3月にオープンした北九州文学サロンを拠点に、11月5日(日)から11月26日(日)まで小倉ブックフェスを開催します。文学と音楽、演劇などさまざまなアートをつなぐイベントを多数開催予定です。
まず、5日(日)は小倉の本屋さんによるトークイベント「本屋のよもやま噺」。書店員さんの推し本を探ります。11日(土)は「睡稿、銀河鉄道の夜(作・演出:泊篤志)」。劇団・飛ぶ劇場が戯曲と原作小説を交互にリーディングし作品に迫ります。12日(日)、25日(土)、26日(日)は「昼下がりのミュージアムカフェ」。漫画ミュージアム、北九州市立美術館、いのちのたび博物館の学芸員による出張講座。18日(土)は北九州芸術劇場主催の朗読公演「よむ、記憶」。26日(日)は文学サロンに投げられた俳句を対象に、北九州文学サロン俳句賞表

彰式を行います。その他、23日(木・祝)にはコワーキングスペース秘密基地(小倉北区京町2の2の193F)にてフランス文学者・野崎歎の講演会。25日(土)には西小倉駅前の「LIVE SPOT WOW!!」にて芥川賞作家・町田康のバンド「汝、我が民に非ズ」ライブとトーク。19日(日)の小倉都心を会場としたミッションゲーム(北九州市立大学文学プロジェクト主催)、26日(日)の京町銀天街での秋まつりなど、同時開催イベントも盛りだくさん。詳細はホームページをご覧ください。
ぜひ小倉で、ダイープな文学体験を。

北九州文学サロン
小倉北区京町1の5の9 1F
開館時間 午前11時~午後6時
(木曜のみ午後9時)
電話番号 093(383)8610
http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/26501166.html
お問合せ 北九州市文化企画課
093(582)2391



野崎歎(11月23日講演)



町田康(11月25日出演)

埋蔵文化財 hiroba

遺跡からのメッセージ

(公財)北九州市芸術文化振興財団
埋蔵文化財調査室 学芸員

安部 和城 Kazuki Abe



木町遺跡 徳利出土状況

「江戸時代の酒屋さん」

木町遺跡の出土品から

2016（平成28）年1月から2カ月間、木町遺跡の発掘調査を行いました。この遺跡は、小倉北区木町1丁目1番に所在しており、西側数百メートルほどで紫川に至ります。発掘調査によって、およそ奈良時代から近代までの遺構・遺物が出土しました。

調査の結果、木町遺跡では、奈良時代のものと考えられる倉庫や、全部で9基の井戸などが確認されました。井戸の使用された年代は江戸時代から明治時代にかけてのものでした。それらの井戸のうち、3基から、各1個ずつ、計三つの上野焼産の徳利が出土しました。出土した三つの徳利は、二つは完形品、一つは下半部が割れていました。いずれの徳利も井戸を埋める際



徳利①「木町」

に、ごみとして投げ込まれたものと考えられます。今回はこれらの徳利について紹介します。ここでは便宜的に、出土した徳利を、徳利①、徳利②、徳利③と呼び分けます。

まず、徳利①は、井戸に捨てられた後、その上から投げ込まれた石によって砕かれた状態で出土しました。さらに、井戸を埋めた土の上部には焼けた土（焼土）が堆積していました。しかし、幸いなことに徳利に彫り込まれている文字部分は残っていました。その徳利には、なんと「木町」と書かれていました。つまり、この徳利は木町の酒屋さん専用で作られたものだということです。



徳利②「馬借町」

借町」と書かれています。この文字から、出土した徳利は、木町遺跡のすぐ近く、現在の馬借付近から持って来られたことを意味しています。

同様に徳利③には、「古せんば」と書かれており、これも現在の古船場町付近から運ばれてきたことを意味しています。これらの徳利は「通い徳利」といわれており、江戸時代に、酒屋による徳利の貸出サービスによって貸し出されたものです。借りた物は返さないといけません。徳利を返しに行くと、ついついお酒を買ってしまいます。これにより、酒屋さんは固定客を持つことができました。そして、通い徳利に特徴的なことは、徳利に酒屋さんの名前や屋号を刻んでいることです。



徳利③「古せんば」

徳利①～③は全て木町遺跡出土の「通い徳利」

つまり、この三つの徳利は江戸時代に木町に住んでいた人が、一つは馬借町の酒屋さん、一つは古船場町の酒屋さんからお酒を買ってきたという証拠になります。このような徳利が出土することは、あまり多くありません。これらの徳利は最終的に井戸の中に捨てられていたことや、井戸の中に焼土があったことから、火災後の処理によって捨てられたのかもしれない。

埋蔵文化財の展示案内

- ・北九州市立埋蔵文化財センター
〈小倉北区金田1の1の3 093(582)0941〉
北九州市を掘る(87) 黒崎城県史跡指定記念
『黒崎城築城と黒崎宿の繁栄一城下町から宿場町へー』
黒崎城に関する古地図パネルや発掘調査で出土した陶磁器、瓦など約70点を展示
常設展もあり
【入館料】無料 【開催期間】8月22日(火)～12月17日(日)まで
- ・黒崎歴史ふれあい館(八幡西区黒崎3の15の3黒崎駅横コムシティ1F)
常設展開催中/『城下町から宿場町へ～出土品が語る黒崎の歴史と文化～』
『シュガーロード・発掘物語』
【入館料】無料 【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)※年中無休



『風と木の詩(うた)』より「ミサのあと」



『風と木の詩(うた)』のクロッキーノート

976年より連載された『風と木の詩』は、少年愛を骨格として、多様な登場人物の生き様を力強く描き、熱い支持を得ました。同時期に『マンガ少年』で発表されていた『地球へ…』は作者が「最も自分らしい」という代表作の一つです。なお、2016年に発表され話題を呼んだ自伝『少年の名は、ジルベール』には、デビューから上京するまで、大泉サロンでの暮らしと交流、『風と木の詩』の生まれる瞬間やその後の掲載に至るまでの道のり、編集部とのやりとりなどが生き生きと綴られています。

Information

竹宮恵子 カレイドスコープ-50th Anniversary-

【会場】北九州市漫画ミュージアム企画展示室(あるあるCity5F)

【開催期間】10月7日(土)~12月10日(日)

【開館時間】午前11時~午後7時(入館は午後6時30分まで)

【休館日】毎週火曜日

【入館料】一般800円 中高生400円 小学生200円 ※小学生未満無料

※詳しくは北九州市漫画ミュージアムのホームページをご覧ください

<http://www.ktqmm.jp/>

【お問合せ】北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077

漫画 hiroba

漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム 学芸員

柴田沙良 Sara Shibata

竹宮恵子 カレイドスコープ- 50th Anniversary-

昭和42年、1967年といわれたら、どんな出来事を思い浮かべるでしょうか。その年に生まれた、または、こんな思い出がある、という方もおられることでしょう。北九州市漫画ミュージアムでは、10月から少女漫画家・竹宮恵子の画業50年を記念した展覧会を開催しています。開幕日の10月7日には作家本人が来場し「マンガと向き合う50年」と題したトークとサイン会を行いました。11月4日(土)には作家による「大人の漫画教室」色っぽく描くコツ」を開

催します。イベントの詳しい報告は後日として、今回は「24年組」とも称され、少女漫画の表現在新たな息吹を吹き込んだ竹宮恵子の主な仕事をご紹介します。竹宮は1950(昭和25)年、徳島県徳島市に生まれました。少年漫画を読むのも好きな子ども時代を過ごし、10代のころ石森(後の石ノ森) 章太郎の肉筆回覧同人誌『宝島』に参加しました。17歳の時には漫画雑誌『COM』の月例新人賞に『このつの友情』が佳作入選。それ

を皮切りに、68年18歳で『週刊マーガレット』誌上で『リングの罪』が佳作入選し、漫画家としての道を歩み始めます。



『地球(テラ)へ…』より「星の生まれるところ」

70年代初頭には「大泉サロン」と呼ばれたアパートで萩尾望都らと共同生活をし、研鑽を積みました。活動初期には『空がすき!』など軽妙な語り口の作品を手掛け、続いてSF『ジルベスターの星から』や歴史物『アラオの墓』などを発表。はつきりとした目的意識を持って1976年より連載された『風と木の詩』は、少年愛を骨格として、多様な登場人物の生き様を力強く描き、熱い支持を得ました。同時期に『マンガ少年』で発表されていた『地球へ…』は作者が「最も自分らしい」という代表作の一つです。なお、2016年に発表され話題を呼んだ自伝『少年の名は、ジルベール』には、デビューから上京するまで、大泉サロンでの暮らしと交流、『風と木の詩』の生まれる瞬間やその後の掲載に至るまでの道のり、編集部とのやりとりなどが生き生きと綴られています。



『私を月まで連れてって!』より「スライドショウ」

美術 hiroba

美術館へ行こう！

北九州市立美術館 学芸員

河村朱音 Akane Kawamura



《ストーンヘンジ、ウィルトシャー》 1827～28年 水彩・紙
ソールズベリー博物館
On loan from The Salisbury Museum, England



《スノードン山、残照》 1798～99年
水彩、スクレイピングアウト・紙
エディンバラ、スコットランド国立美術館群
©Trustees of the National Galleries of Scotland



《モンテ・マリオから見たローマ》 1820年
水彩、スクレイピングアウト・紙
エディンバラ、スコットランド国立美術館群
©Trustees of the National Galleries of Scotland

リニユーアル・オープン記念 英国最大の巨匠 ターナー 風景の詩

北九州市立美術館本館は、1974（昭和49）年の開館から40年を迎え、建物の老朽化にともなう大規模改修工事のため休館してまいりました。そして2017年、開館日と同日の11月3日にいよいよリニユーアル・オープンします。記念すべき最初の企画展では、イギリスを代表する風景画家ターナーをご紹介します。

アカデミーの正会員になりました。旅好きであり、イギリス国内はもとより、フランス、スイス、イタリア、ドイツなど、生涯にわたってヨーロッパ各地に赴き、たくさんのスケッチを描きました。

イギリス風景画の黄金時代の土台を築くことになったターナーの画家としての経歴は、素描家、水彩画家としてはじまります。グランド・ツアーの流行とともに当時イギリスで発展していた、水彩絵具を用いて個々の土地や地形を正確に再現、記録することを目的とした地誌的風景画に取り組みながら、水彩素

描の技巧を学びました。また、多くのスケッチが版画にされる際、ターナーは自分の芸術的意図が職人の手によって忠実に再現されるよう、特にこだわりを持っていました。こうして出来上がった版画は、広範囲にターナーの名前を広める機会にもなっていました。

嵐の海景、古代の歴史的風景、崇高な山岳風景など自然の多様な表情がドラマティックに描かれたターナーの作品は、晩年に至るにつれ、光や大気の効果を追求めた輝かしい画面に移行していきます。写実的な要素は薄れ、色彩のみによって表現された風景はよりいっそう詩的になっていきました。19世紀を代表する美術評論家ジョン・ラスキンは、「風景のすみずみまで知り抜いた、詩人でもある最も偉大な画家」と賛辞を贈っています。

ターナーの影響は没後も国内だけでなく国外にまで広がりました。日本では明治に、美術雑誌の『みづゑ』でイギリスの水彩画としてターナーの作品が紹介されたところ、夏目漱石は『坊っちゃん』や『草枕』でターナーの名前や作風について触れ、宮沢賢治も『春と修羅』に名前を登場させています。このことからすでにターナーは日本で名の知られた存在であったことが

うかがえます。

本展は、イギリス各地と日本国内の美術館から選りすぐった、すべてがターナーの作品で構成されます。ほとんどが日本初出品となり、日本では一堂に展観する機会の少ないターナーの画業と芸術の全貌を存分に堪能できる極めて贅沢な展覧会です。

最新の知見をもとに、ターナー芸術を再考し、その核心と魅力に迫る本展に、どうぞご期待ください。

Information 英国最大の巨匠 ターナー 風景の詩

- 【会場】北九州市立美術館本館
戸畑区西鞆ヶ谷町21の1
- 【会期】11月3日（金・祝）～2018年2月4日（日）
休館日／月曜日（ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）、年末年始（12月29日～1月3日）
- 【開館時間】午前9時30分～午後5時30分
（入館は午後5時まで）
- 【観覧料】一般1400（1200）円
高大生800（600）円
小中生600（400）円
※（ ）内は前売りおよび20名以上の団体料金
- 障害者手帳提示の方は無料
年長者施設利用証提示の方は2割減免
【お問合せ】093（882）7777
- 本館で同時開催
※ターナー展のチケットでご覧いただけます
ザ・ベスト・コレクション一丘の上の双眼鏡
【会期】前期：11月3日（金・祝）～12月28日（木）
後期：2018年1月4日（木）～3月18日（日）

清張と東京オリンピック

文芸 hiroba

清張アラカルト

北九州市立松本清張記念館 学芸員

小野芳美 Yoshimi Ono

サッカー日本代表は2018年に開催されるワールドカップ・ロシア大会への出場を決め、陸上男子100メートルでは桐生祥秀選手が9秒台をマーク。……と、この原稿を書いている9月上旬、スポーツの明るい話題が数多く耳目を集めています。こうして11月号を手になさっている皆さんの心情がはたして「スポーツの秋」にマッチしているだろうかと多少不安を抱きながら、文学者と東京オリンピックの話題をお届けします。といっても、来る2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックではなく、1964(昭和39)年に開催された東京オリンピックのお話です。

64年のオリンピック開催時、数多くの文学者や評論家が文章を書きました。時事評論などではなく、実際に競技場に足を運んで観戦したルポルタージュが、新聞や雑誌に掲載されていたのです。『東京オリンピック文学者の見た世紀の祭典』(講談社、1964年12月。2014年1月、講談社文芸文庫にて文庫化)には100編近くが収録されていますが、居並ぶ顔ぶれは実に豪華です。堀口大學、小林秀雄、草野心平など、すでに当時大御所であったであろう文筆家の名前も散見され、「えっ本当にこの人がスポーツの話題を……?」と、目次を一瞥しただけで驚いてしまいます。中でも最も数多く執筆しているのは三島由紀夫です。10月10日の開会式を皮切りに、三日にあげず、さまざまな新聞に観戦記を寄せています。ボクシング、重量挙げ、レスリング、陸上、水泳、体操。経過や結果だけではなく、場内の引き締まった空気が、試合前後の選手の表情をも無駄なく伝える文章は、報道記者によるものとは異なる臨場感があります。

女子バレーボールはこの東京大会から正式種目となった競技の一つです。注目の決勝は「東洋の魔女」と称された日本チームと強豪ソ連(現ロシア)との全勝対決となりました。この世紀の一戦に立ち会った三島は、この競技の持つ美しさや両チームの選手を冷静に描出します。そして接戦を制し勝利を手にした日本選手たちを目の当たりにし、抱き合っただけにこみあげてくるものがあり、生まれてはじめてスポーツを見て涙を流したと述べています。

さて、この本に収録された「解放と別離の陶酔」は、松本清張が東京オリンピックに言及した数少ないエッセイです。10月24日、清張は国立競技場を埋めた7万5千人の観衆の一人として、スタンドで閉会式に臨んだのでした。

おごそかに整然と入場する開会式と異なり、各国の選手たちが入り交じり、リラックスしながらスタジアムに現れる閉会式のスタイルは、今日では当たり前ですが、初めて行われたのはこの東京大会でした。当初から計画されていたわけではないものの、好評だったので定番化したそうですが、この光景を目の当たりにした清張の筆はとても好意的です。次第に濃さを増す宵空が閉会式のうら淋しさをいや増すなか、突然にぎやかに無秩序に登場した選手たちの姿に、オリンピックが持つ非日常の祝祭感をみとめ、「開会式には素直に感動があった。秩序の感動である。閉会式は、万事が終わったという解放感と別離の陶酔である」「競技場全体が一つの野外劇場であった」と述べます。

開会式の直後に、世界では、緊迫した国家情勢を反映した事件が起きていました。そのとき「瞬時にオリンピックが色あせてみえ」、「世界は一つ、でなかつたことがわかつた」と清張は振り返ります。しかし、「スポーツによる世界統一という理想」が「錯覚だったと気づけば、それなりに意義がある」と冷静に分析したうえで、それでも「次のメキシコ大会まで何ごともなく時が流れてゆく」ことを清張は祈念しています。長くはない文章ですが、絵画的な描写と落ち着いた分析に清張らしさが溢れています。

上でご紹介した本では、清張のほか、井上靖や三島由紀夫、石原慎太郎、北杜夫、大江健三郎による閉会式についての文章が収録されています。さすがに並んで座ってはいないでしょうが、このメンバーが、スタジアムという場で同じ瞬間を共有しあっていたのかと想像するだけでも不思議な感慨が湧いてきます。

文学者たちの描く観戦記を1遍ずつ語るには紙幅が足りません。ぜひ、読書の秋とスポーツの秋をあわせて楽しんでみてください。

Information

北九州市立松本清張記念館
北九州市小倉北区内2の3

【開館時間】

午前9時30分～午後6時(入館は午後5時30分まで)

【常設展観覧料】

一般500円 中学生300円 小学生200円

【お問合せ】

093(582)2761

演劇 hiroba

演劇の街は、いま

大塚恵美子演劇事務所 代表

おおつか えみこ Emiko Otsuka

9月の劇場あれこれ。

9月の北九州の劇場の様子を書こう。

まずは、「飛ぶ劇場」が『生態系カスケン』（作・演出・脚本 篤志／9月8日～10日／北九州芸術劇場小劇場）を上演した。

「飛ぶ劇場」は今年で30周年を迎えた。この作品は、1998年に「第3回劇作家協会新人戯曲賞」を受賞した初期代表作の一つだ。初演および3回の再演を経て、今回は5回目、14年ぶりの公演となる。同じ時期に劇団を立ち上げ、北九州の演劇界のさまざまな「事件」を共に体験してきた者としては、非常に感慨深い公演だった。

同じ週末、八幡東区の「デルソルカフェ」では、「侘び助」が朗読ライブ『苦海浄土 石牟礼道子』（原作・石牟礼道子／構成・鳴／9月9日）を上演した。「侘び助」は、語りの萬田



弦巻楽団『サウンズ・オブ・サイレンシズ』チラシ

陽子と音楽の上田たけしで構成されたユニット。飯塚市・直方市に拠点を置きつつ、市外、県外でも積極的に活動を行っている。萬田は2015年に「第3回久留島武彦顕彰 全国語りベ大会」にて最優秀賞を受賞。上田は音楽だけでなく、エフエムキタキューのラジオ番組にも出演するなど、多彩な二人である。しっかりととした語りど、即興で奏でられる音楽のバランスが心地良い作品だった。

月末には、弦巻楽団が『サウンズ・オブ・サイレンシズ』（作・演出・弦巻啓太／9月23日・24日／枝光本町商店街アイアンシアター）を上演。2016年6月にアイアンシアターで初の北九州公演を行った、札幌を中心に活動している劇団である。今回の作品は2016年に初演されたもの。「再演ツアー

」として三重、大阪、北九州と3カ所での上演。こうして県外の劇団が、帰ってきてくれるのは大変うれしいことである。とある劇団関係者が「アイアンシアターは、劇団が拠点としていく場所がどこであろうと、ホーム」だと感じさせてくれる場所だ」と言っていたのを思い出す。そう感じてくれる劇団がどんどん増えていけばいいと思う。

同じくその週末に、「劇団C4」が第24回公演『三日月探偵社 CASE FINAL〜下弦の月〜』（作・演出・大福悟／9月22日・24日／旧古河鉱業若松ビル）を上演した。何度かここでも紹介させていただいたが、この劇団の大きな特徴の一つが、複数の作品を通して、登場人物の成長や変化を追いかける「シリーズ物」である。まるでテレビドラマや映画のような楽しみ方ができるので人気もある。今回の作品は、ここ数年取り組んでいる『三日月探偵社』シリーズの最終回。ファンにとっては寂しいかもしれないが、反面、次回の「シリーズ」がどのようなものになるのか、待ち遠しいのではないだろうか。

さて、枝光本町商店街アイアンシアターでは、少し変わった作品が上演された。東京を拠点とする劇団「Platform」の『い



侘び助『苦海浄土』(福岡公演時の様子)

と、といと。」(9月29日～10月1日)である。この劇団は「次世代にインプロ文化をつなぐ」をコンセプトに、2010年8月に結成された。即興パフォーマンスチームである。インプロという、短いゲームの連続で構成されたショーを上演する団体が多い中、この劇団は、あらかじめ世界観や人物設定を決めておいて、そこへ観客のアイデアを盛り込みつつ「一つの物語」として上演していく形をとっているのが特徴だ。今回は、観客と登場人物が協力して、運命の恋人をさがすという趣向。「脚本」と「即興」のハイブリッド具合が興味深かった。

「演劇の街」の9月は、演劇公演が多くなる「芸術の秋」の始まりにふさわしい勢いを感じさせる月だったと思う。



北九州モノレール

北九州芸術工業地帯
モノレール公演
「はなれても、燈
— 聖なる夜のひみつのツアー —」

広報係 松本京子 Kyoko Matsumoto

Cul
特集Cul 55

北九州芸術劇場

日常が非日常になる瞬間

北九州芸術劇場では、商店街や船上など劇場という「箱」から飛び出し、普段あまり芸術と接点がない人にアートの魅力や面白さを感じてもらおう企画を実施している。そのひとつが今年で4回目となる、走るモノレールの車内で演劇を上演する「モノレール公演」である。

北九州モノレールは1985（昭和60）年運行を開始した日本初の都市型モノレールで、現在では北九州市民の生活の一部として根付く交通機関である。通勤通学に買い物にと毎日利用している人も多い穏やかな日常風景が、期間限定で、見たことがない不思議な走る劇場へと変身する。

物語は小倉駅をスタートし終点の企救丘駅で折り返し、再び小倉駅に戻ってくるまでの計60分の中で展開される。照明や音響はもちろん、車内アナウンスに駅のホーム、車窓の景色までも使った、まさに「ここでしか体験できない」作品を上演する。昨年は「近未来時空ツアー」という設定で、観客はツアー客として乗車。役者扮するガイドたちの案内で200年後の未来の昼過市場や平和通りを旅していたが、突然鳴り響いた1本の車

内アナウンスによって事態は思わぬ方向に展開していく……

過去3作上演し、全ての作品で共通して描いているテーマは『生と死』。車両が起点から終点へ向かい走る姿や、夕暮れに出発しだんだんと闇夜へと移ろいゆく景観を、生から死へ歩む姿に見立てている。だがしかし、物語は終点で終わらない。終わりと違っていた終点で登場人物たちはそれぞれの『燈』希望』を見つめる。すると車両は折り返し、再び『生』に向かって力強く走り始める。帰りの道中、真っ暗だと思っていた夜の帳の中できらきらと煌く日常の街の灯りが、不思議と希望の光に見える。

本作品の乗客は演劇ファンだけにとどまらず、通りすがりにふらりと観劇してくれる「一見さん」が多いのが特徴だ。通勤でモノレールを毎日利用し「実はずっと気になっていたのよ、今回やっと乗れるの」とうれしそうなお女性や、偶然通りかかった若いカップルが「面白そうだから乗ろうかな」と、観劇券と乗車券を購入し、ワクワクしながら改札口を抜けていく。その姿を見るたび感動し、同時にこの企画が徐々に街に浸透しつつ

ある手応えを感じている。

物語が終わわり、幕が閉じた後、乗客はそれぞれの日常へと戻っていく。後日、通勤や通学で再びモノレールに乗車し、ふっと車窓から街の景色を見た瞬間、幻のようなこの体験を思い出すかもしれない。そして「今、自分の隣にいる人が未来人だったら」「この街の200年後はどんな景色だろう」と自由に空想を巡らせる。日常と非日常がモノレールという空間で溶け合うことで、無機質で退屈だった日常が色を持ち、少しだけ毎日が楽しくドラマチックになる。そんなきっかけを提供できたらとてもうれしい。

さあ、第4弾となる今回はクリスマス号。聖なる夜空を特別な空中列車が駆け抜ける。今年は何んな物語を皆さんにお届け



©重松美佐

できるだろうか。気になった方はぜひ乗車して、不思議なツアーをお楽しみいただきたい。



©重松美佐

Information

北九州芸術工業地帯
モノレール公演「はなれても、燈 — 聖なる夜のひみつのツアー —」

【公演日程】

12月22日(金)～24日(日)
22日(金)午後6時36分
23日(土)午後4時36分・同6時36分
24日(日)午後7時36分
(計4公演)

【料金】1500円

※車両指定 ※当日500円増
※別途乗車料(大人620円/子ども320円)を当日改札にて支払い
【チケット発売】10月22日(日)発売開始
【お問合せ】
北九州芸術劇場 093(562)2655

かるかる CulCul

Culture&Cultivate

2017
November

11
Vol.55

街と共にある。

特集

北九州芸術劇場

演劇 | 演劇の街は、いま

文芸 | 清張アラカルト

美術 | 美術館へ行こう！

漫画 | 漫画と北九州

埋蔵文化財 | 遺跡からのメッセージ

音楽 | いろはにびあの

CulCul かるかるニュース

2017年 文学の秋、
小倉ブックフェスはじまります。